

緩和ケア内科レジデント研修プログラム

【研修の概要】

近年、緩和医療の概念は末期の進行疾患のみが対象ではなく、積極的治療期間にこそ、緩和ケア（サポートティブケア）を提供すべきであるという方向へ変化しています。当院緩和ケア内科では、緩和ケア病棟における終末期医療の提供のみならず、がん診断直後の心のケア・根治術後の疼痛管理・化学療法中の支持療法提供など、積極的がん治療を **Support** する緩和医療を提供しております。また、「麻酔科専門医ならでは」の治療として、超音波ガイド下神経ブロックや神経破壊術、超音波ガイド下中心静脈穿刺なども積極的に行っています。

当プログラムでは、緩和ケア・緩和医療の基礎を学ぶとともに、麻酔・ペインクリニック診療も体験して頂ければと考えています。

【対象】

卒後 1～2 年目の初期研修医（基本的に当院にて初期臨床研修を行っている者）

【研修期間】

1 か月間（希望により短縮・延長可能）

本研修期間は、緩和医療学会専門医取得において、所定の研修期間として認められる研修です。

【一般目標】

生命を脅かす疾患に罹患している患者や、その家族に対して提供される緩和ケア・緩和医療を理解し、それを提供する能力を身につける。

【行動目標】

1. 一般病棟で提供される緩和ケア・緩和医療領域の標準的な診断治療についての知識を得る。
2. 緩和ケア病棟で提供される緩和ケア・緩和医療の標準的な診断治療についての知識を得る。
3. 緩和ケア病棟で提供される緩和ケア・緩和医療の標準的な診断治療について自ら実践する。

4. Trigger point block など初歩的な Pain intervention の技術を身につける
(3 ヶ月以上の麻酔科研修・整形外科研修を経験した者のみ)。

【主な研修内容】

毎日：緩和ケア病棟カンファレンス・緩和ケア病棟回診

毎週水曜：緩和ケアチーム回診

毎週金曜：緩和ケア病棟多職種合同カンファレンス

第1・3水曜：緩和ケアチーム多職種合同カンファレンス

【研修指導医】

高橋正裕（緩和ケア内科 部長）

1998年 奈良県立医科大学医学部医学科卒

2004年 奈良県立医科大学大学院医学研究科卒（薬理学）

2005年 奈良県立医科大学 麻酔科学教室 助教

2010年 奈良県立医科大学附属病院 緩和ケアセンター 講師

2012年 現職

医学博士 日本緩和医療学会暫定指導医 日本麻酔科学会指導医・専門医